

大東亜建設民族人口資料

二二

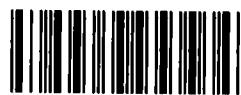
昭和十七年三月二十五日

結婚促進に関する資料

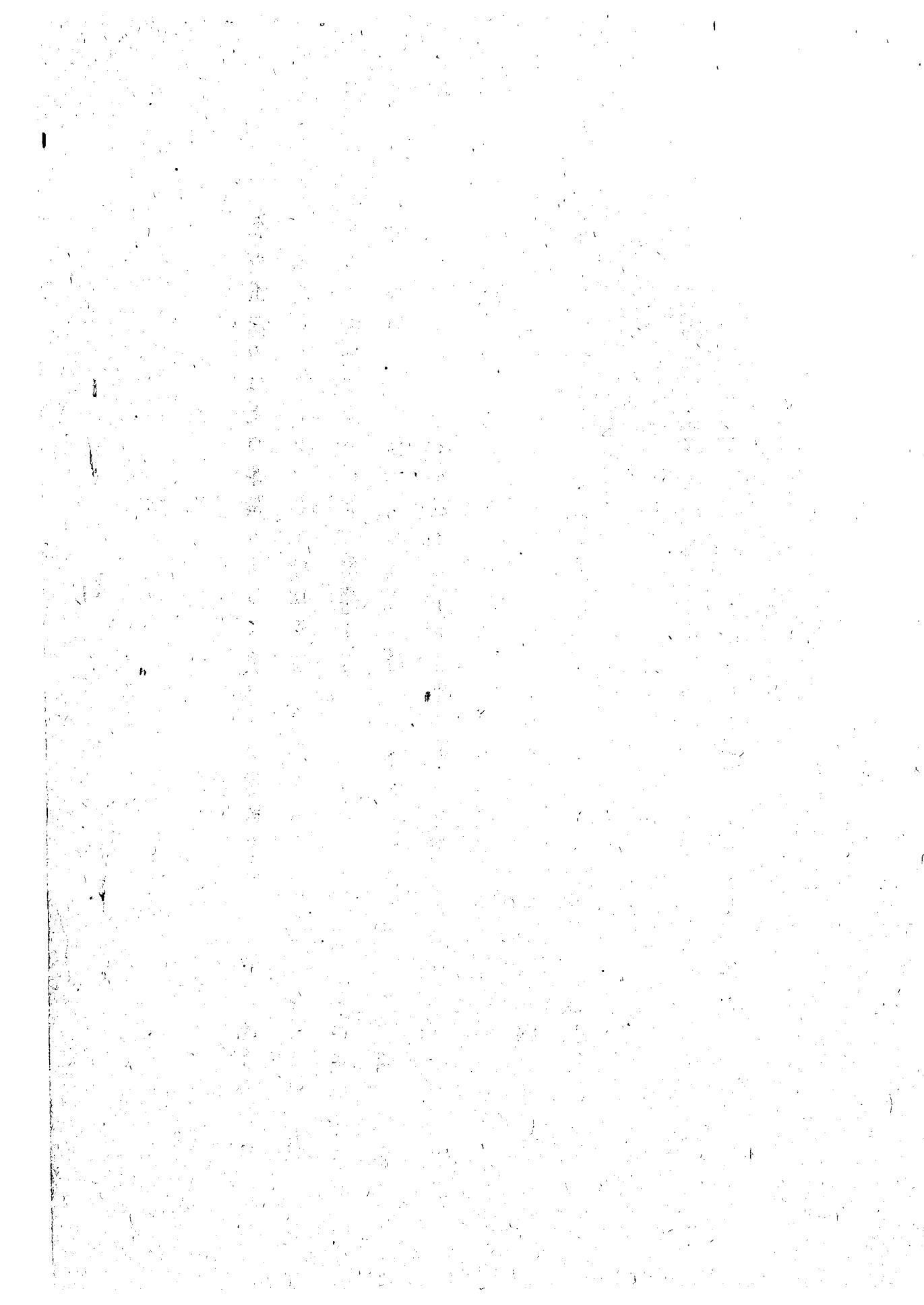
(一) 妻の婚姻年齢と出産力

厚生省 人口問題研究所

国立社会保障・人口問題研究所



197495



妻の出産力はその年齢によつて変化し、常識の如く年齢の高まるに伴つて低減する。しかし妻の喫煙年齢が何歳であつたかといふことは、要の此の年齢別出産力に殆ど影響しない。例へば三十六歳の妻の出生率は何歳で喫煙した場合であつても一様に百人に付二六乃至三一の間の値をとるのである。むしろ喫煙せ乍年の翌年に當る年齢のみは例外であつて、この年齢に於ける出生率は常に高いのである。即ち第一表の如くである。

年齢の高まると伴つて妻の出産力が低減する一の理由は喫煙年齢が高い程無子に終る妻の割合が常に高まることである。即ち第二表の如くである。

第一表 妻の喫煙年齢別に見たる年齢別出生率(%)

(昭和十五年一月人口問題研究所出産力調査)

卷之三

樂書國語

妻年婚姻

妻年烟舊

妻の煙嫁年

第二表妻の婚姻年齢別不妊率

(昭和十五年一月) 企画課研究所出産力調査

次に今一つの理由は婚姻年齢の高い妻程少くとも一回の出生経験を有しまだ十分妊娠可能期間に在るにも拘らず出生を止めて了ふ者の割合が高いことである。例へば婚姻年齢一七歳の妻の五%弱は婚姻後五年迄の間に少くとも一児を出生した後出生を止め、一二%弱は全じく十年迄の間に、二五%弱は全じく十五年迄の間に、四五%強は全じく二十年迄の間に少くとも一児を出生した後に出生を止めてしまうのに對し、婚姻年齢二七歳の妻の一三%弱は婚姻後五年迄の間に少くとも一児を出生した後出生を止め、三七%弱は全じく十五年迄の間に、九七%弱は全じく二十年迄の間に少くとも一児を出生した後に出生を止めてしまうのである。

従つて此の無子の妻、出生を止めてしまつた妻を除いて觀察すると、妻の年齢別出生率といふものは殆んど一律の値へ百人に付大体三二・三一を示すのである。

以上の如く妻の出生力といふものは婚姻年齢の高まることによつて阻害されるのであるから婚姻年齢が若い程出生增加に有利なことは言えども要しない。五十歳に達したる時の妻の婚姻年齢別出生児数は次の如くである。

妻の婚姻年齢	出生児数
一立歲	五八九
一六四	六二一
一七五	五八七
一八六	四五七
一九七	四九五
" "	九一四
" "	九一〇
二一九	八一〇
二二九	七一〇
二三九	六一〇
二四九	五一〇

第三表 妻の年齢五十歳の時の夫婦當り平均出生児数
(昭和十五年(月)人口問題研究所出産力調査)

三三三三三三三三三三二二二二二二二
九八七六五四三二一〇九八七六五四三二一
“““““““““““““““““““““““歲

一〇一一一二二三三三三四四五
八八八九三三七五三三五八二五九一
三三三九八四一二〇四三三一八三七七〇四

現在に於ける妻の平均初婚年齢は約二十四歳であるが若し之が二十一歳に低下すとすれば上表の如く婚姻年齢二十四歳の妻の出生數に對し二十一歳の妻のそれは二割多いのであるから二割の出生増加得られることになるであらう。

四四四四四四
四三二一〇
四四四四歲
〇〇〇〇〇
一一一三
二七〇七三
〇〇三八三

